

コウヤノマンネングサ

<p>名称</p> 	<p>コウヤノマンネングサ (コウヤノマンネン)</p> <table border="1" data-bbox="497 181 927 234"> <tr> <td style="text-align: center;">日 陰</td> <td style="text-align: center;">半日陰</td> <td style="text-align: center;">日 向</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="497 257 927 309"> <tr> <td style="text-align: center;">湿潤地</td> <td style="text-align: center;">乾燥地</td> </tr> </table>	日 陰	半日陰	日 向	湿潤地	乾燥地
日 陰	半日陰	日 向				
湿潤地	乾燥地					
<p>形態</p>	<p>黒褐色の仮根を付けた地下茎が地中に長く這い、ここから直立して新しい基部を伸ばす。</p>					
<p>生産</p>	<p>庭園材には向かないためパレット栽培はなく、全量ポット栽培。生産量はきわめて少ない、ポットには土が付くが、根から土を落としたパック商品もある。</p>					
<p>植え付け</p>	<p>良質な腐葉土やピートモスを多めに混ぜて保水性を良くする。水はけの悪い土は川砂、パーミキュライト、軽石の細粒なども混ぜる。用土に根(地下茎)を重ならないように置いて土を被せる。茎の部分は露出させず、表土近くに葉が広がるようにできるだけ低く植える。大型のコケは環境に変化には弱く、丈を高くすると乾燥にさらされ、一ヶ月ほどで葉の先から変色することがよくある。変色した葉の回復は難しいが、地下茎から新しい芽が出るので、土は乾燥しないよう水は与え続けること。</p>					
<p>管理</p>	<p>日陰地から半日陰地で適度な湿度があれば良く育つ。移植後に変色しやすく枯れたように思われるが、一年に1~2本新芽をだすのでこれを育てるようにする。過湿による根腐れの心配はないため、当分は乾燥させないように十分な水やりをおこなう。蒸れ予防の間引きや徒長抑制の必要はない。定期的な目土は効果的。</p>					

栎木

